

病 防 第 566 号
令和7年2月3日

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察特殊報について

令和6年度病害虫発生予察特殊報第3号を発表したので送付します。

令和6年度病害虫発生予察特殊報第3号

1 害 虫 名 : リュウガンズキンヨコバイ

2 学 名 : *Idioscopus clypealis*

3 確 認 地 域 : 沖縄本島南部

4 発 生 作 物 : マンゴー

5 確認の経緯

沖縄県南風原町のマンゴー施設ですす病が発生し、令和5年7月には場を確認した。施設内でヨコバイの発生が見られたが成虫密度はかなり低下しており、すす病との関連性は不明であった。11月に横浜植物防疫所へ同定を依頼した結果、リュウガンズキンヨコバイ(*Idioscopus clypealis*)であることが確認された。

令和6年に改めて発生状況を調査したところ、9月に豊見城市のマンゴー施設で本種およびすす病の発生が確認された。

6 被 害

本種はマンゴーやリュウガンに寄生することが知られている(図1)。成虫は花序に産卵し、個体数は開花期に増加する。幼虫および成虫は花や葉を吸汁し、花が加害されると果実の着果に影響を及ぼす。また、排泄物によってすす病が誘発され(図2)、光合成阻害や果実品質の低下を招く。

7 形態および生態

本種は南アジア～東アジアの熱帯、亜熱帯に広く分布しており、日本では石垣島からの報告がある。

体長は雄3.5～4.2mm、雌3.6～4.2mmである。頭部、前胸背、小楯板は黄褐色で、小楯板の前角に1対の黒斑を有する(図3, 4)。雌は頭頂の前縁に2個の黒斑を有する。

日本昆虫目録第3巻にズキンヨコバイ亜科は8属17種が掲載されているが、この中でマンゴーに寄生することが確認されているのは本種のみである。

8 防除対策

側面、天窓、出入口に防虫ネットを設置し、出入口は二重カーテンにする。また、被覆ビニールおよびネット等の破損部分は直ちに補修する。



図1 マンゴーに寄生する
リュウガンズキンヨコバイ



図2 排泄物により発生したすす病



図3 リュウガンズキンヨコバイ雄成虫



図4 リュウガンズキンヨコバイ雌成虫
※ ↓ は頭頂前縁の黒斑を示す

